

四小だより

令和5年2月27日 第15号



いちよう

山形市立第四小学校
校長 村上 ゆかり
＜児童数 187名＞

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

学校評価アンケート結果

本年度の学校経営について、保護者・児童・教職員に行ったアンケートの結果および今後の方針についてお知らせいたします。

項 目			児 童		保護者		教職員	
			前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度
確かな学力	学 習	確かな学力	◎	◎	○	○	◎	◎
		聞く・話す	○	○	○	○	◎	○
	行 事	行事への取組	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		クラス・班での取組	◎	◎	○	○	○	○
		外部人材・豊かな経験	◎	○	◎	◎	○	◎
豊かな心	挨拶、言葉づかい		◎	○	○	○	◎	◎
	対人関係(相手の気持ちを考え行動等)		◎	◎	○	◎	◎	◎
	適切な相談・指導		◎	◎	◎	○	◎	◎
	いじめ・体罰の早期発見		○	○	○	○	◎	◎
健やかな体	登下校の安全(交通安全、不審者への対応等)		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	保健・食育		○	○	◎	◎	◎	○
	運動・体力(進んで運動し体力をつける)		○	○	○	○	○	○
	生活習慣・早寝早起き朝ごはん		○	○	○	○	◎	○
連携その他	テレビ・ゲーム等家庭との連携		○	○	○	△	○	○
	学習習慣の確立のための家庭との連携		○	○	○	○	◎	◎
	学校からの情報提供		◎	○	◎	◎	◎	◎
	楽しい学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎

※「よくあてはまる」「ややあてはまる」が90%以上で◎、70%以上で○、それ以外△

※本年度の数値が前年度より上がった項目の記号に網掛けをしています。

1 児童アンケートへの対応

「確かな学力」については、児童一人一人の学力の定着を図るため、児童が各教科等の見方・考え方を働かせる問題解決型の授業を展開するとともに、タブレットの日常的な活用を推進しています。

「豊かな心」については、日頃から他者を意識した学校生活を送る中で、相手の気持ちを考えた言動の大切さを学んでいます。現在、全校児童で状況に応じた挨拶や言葉づかいを心がけています。

「健やかな体」については、コロナ禍における「2慣・3密・4絶」を徹底した感染対策とともに、登下校時等の危機管理について配慮しながら学校生活を過ごしてきました。引き続き、「自らのいのちは、自ら守る」姿勢をもち続けられるよう指導をしていきます。

2 保護者アンケートより

(1) 各項目における評価結果の特徴及び対応

「確かな学力」の項目では、小項目「クルーズ班での取組」に大きな期待と要望が寄せられています。新型コロナウイルス感染症対策のために年度当初から制限されていたクルーズ班活動を年度途中から徐々に再開することができました。引き続き、卒業を祝う活動や清掃等の日常的な活動の中で異学年のかかわり場を設けていきます。

「豊かな心」の項目では、本年度も小項目「規範意識」に多くの要望が寄せられています。引き続き、友だちとのトラブルを未然に回避するための折り合いの付け方等、他者とのよりよいかかわり方について学ぶ場を設けていきます。

「健やかな体」の項目では、小項目「体力」に多くの要望が寄せられています。本年度は、3年ぶりに水泳の授業を再開する等、実施可能な範囲で体育の授業や行事を行ってきました。引き続き、児童の既習や体力の実態を踏まえた指導を積み重ねていきます。

「家庭・地域との連携」の項目では、本年度も小項目「家庭の生活リズム」に多くの要望が寄せられています。特にゲーム時間の適切な管理等について、保護者の皆様と学校が連携した取り組みが引き続き必要ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

(2) 本校の教育にさらに期待すること（割合の多い順に）

- ①思いやりの心 24% ②基礎的な学力 18% ③いのちの教育 16%

(3) 自由記述より（類似したものをまとめたり、要約したりさせていただきました。）

- 我が子が学校に楽しく通えていたいへんありがたいです。
- 感染対策で仕方がないですが、我が子を含めた子どもたちが学校で生活している様子をもっと見たいと思っています。
- 各種行事などで児童が自主的に活動する機会が少なかったように思います。その時々での感染対策の程度を適切にしていきたいです。
- 学校での子どもの様子や行事予定等、家庭と学校間で送受信する情報がスムーズにやり取りできると思います。
- 登校班制度について見直す時期なのではないでしょうか。少ない児童の中で無理やり登校班を組んでいる実態があるように思えます。
- 安全対策のために、保護者が来校する際の名札を導入するとよいと思います。また、夏季の登下校時における熱中症対策をもっと検討していきたいです。

3 今後について

本アンケートの結果及び先週開催された学校運営協議会で各委員の皆様よりいただいたご意見を来年度の学校経営に反映していきます。

以下、来年度を待たず、今から対応できることについて記載しました。

-
- (1) 文房具等の学習用具の管理や児童一人1台のタブレットの効果的な活用等により、児童一人一人の「確かな学力」の定着を図ります。
 - (2) 学級・学年・クルーズ班等のあらゆる活動を通して、児童一人一人が自他のよさや成長を自覚し、新年度に向けての目標をもつことができるようにします。
-

ご協力いただき、ありがとうございました。

今後も、心配なことがあれば、何でも（担任、教頭に）ご相談ください。